



# ごあいさつ

九州旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長執行役員

古宮 洋二

平素より、JR九州をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

JR九州グループは、「安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」を「あるべき姿」として掲げています。その中で、「誠実」「成長と進化」「地域を元気に」という3つの「おこない」を社員一人ひとりが常に立ち返るべき拠り所として大切にしながら、「安全は、私たちの最大の使命である」という基本理念のもと、安全管理体制の強化、安全風土の維持・向上、設備の維持・更新や安全施策等の実施により「ゆるぎなき安全」の実現を進めています。

2023年4月に、JR九州グループでは「ゆるぎなき安全」を実現するための3か年計画である「安全中期計画2023-2025」を策定しました。本計画では、頻発化・激甚化を続ける自然災害やテロ、人口減少の進展や技術革新、経営環境の変化等に強靱で柔軟に対応し、今日(こんにち)まで培われてきたJR九州グループの安全の基盤をさらに強固なものとしてまいります。また、現在の課題における本質的な問題点を「見える化」し、それらを「わかりやすい」安全対策への反映と「人間力」と「実務力」を高める人材戦略により解決し、さらに新技術や新たな仕組みの積極的な導入により未来に向けた安全を創出してまいります。

本計画では安全をつくるための基本的な考え方として、以下の「安全の方程式」を示しています。

(知っている事 + 出来る事) × 熱意 = 安全

「安全の方程式」は『安全をつくるためには知識と技能が必要だが、熱意がなければ安全を実際に「つくる」ことはできない。熱意が「ゼロ」なら安全は「ゼロ」、熱意が2倍なら安全は2倍になる。それだけ「熱意」が重要である』ということを表しています。コロナ禍により長らくコミュニケーションの制限を余儀なくされてきましたが、本年度からは、人と人との繋がりをさらに強化し、社員一人一人の熱意の醸成と「個の力」の最大化に取り組みます。さらには、ヒト・モノ・コトの相互の繋がりを強化することで、グループの総合力の最大化に積極果敢に取り組んでまいります。

2022年9月23日に西九州新幹線が開業し、2023年は新長崎駅ビルが開業を迎えます。8月28日には2017年7月の九州北部豪雨により被災した日田彦山線添田駅～夜明・日田駅間が、新たに「日田彦山線BRTひこぼしライン」として開業予定です。

今後も、皆さまのご理解とご協力を賜りながら「九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」として、安全で安心な鉄道の提供のために、JR九州グループ一丸となって尽力してまいります。

この報告書は、鉄道事業法第19条第4項に基づき、2022年度におけるJR九州グループの鉄道の安全への取り組み等を、皆さまにご報告するものです。是非ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。